

# 再処理企業協議会

## かわら版 さいくる 2016年12月 第23号



構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも“再処理企業協議会”の会員です！

### 今月の担当



藤田

波谷

2016年(平成28年)11月30日発行  
再処理企業協議会 広報部会  
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾敷字弥栄平1-5  
再処理企業センターB棟  
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)71-2488  
URL <https://www.saisyori-kigyogyogikai.jp/>



再処理企業協議会

冬の準備は万端ですか。閉じこもらずに厳しい冬を楽しみましょう！

## 第4回各社対抗ボウリング大会

10月29日(土)三沢ボウルにて、会員企業24社104名(26チーム)にて第4回各社対抗ボウリング大会が開催されました。

### 団体戦

- 優勝** 松田建設 (㈱ジェイテック)  
**準優勝** チームSNK (新日本空調㈱)  
**第3位** 昔とった杵柄三人 (㈱青森クリエイト)  
チームアトックス (㈱アトックス)  
※同点により第3位は2チームとなりました

### 個人戦

- 優勝** 若松寛仁様 (美和電気工業㈱)  
**準優勝** 岡野貴様 (㈱アトックス)  
**第3位** 児玉和広様 (新日本空調㈱)

大会終了後、懇親会を開催し会員各社間での健闘を称え親睦を深める事が出来ました。  
参加各社の皆様方、お疲れ様でした。  
来年は、新たな会社(チーム)の参加もお待ちしております。



### 地域情報

## 青森県ご当地ラーメン

今回の地域情報は青森県のご当地ラーメンの紹介です。青森といえば煮干しラーメンがメインですが各地方において美味しいご当地ラーメンがあります。

小川原湖、十三湖、五所川原、津軽方面ではしじみラーメンがあります。塩味ベースのスープにシジミの旨味が凝縮されお酒を飲んだ後には最高かと。下北北部ではイカ墨ラーメンがあります。イカ墨を練りこんだ黒い麺が特徴です。こちらも塩味ベースで磯の香り、味が楽しめます。青森市ではみそカレー牛乳ラーメンがあります。味噌をベースにカレー粉、牛乳を入れたラーメンです。名前から想像しますとどんな味と思われませんが味噌をベースにカレーが上手くマッチしており牛乳、バターがまろやかさを出しています。30年以上前から愛されているラーメンです。

他にも田子のニンニクラーメンや津軽の焼干しラーメン等があります。各地に訪問機会がありましたらご賞味してはいかがでしょう？寒い季節となります。美味しいラーメンを食べ心と体を温めて寒い冬を乗り切りましょう。



### クラブ・同好会紹介 ラグビー部

ラグビー部は、勤務先・経験等に依らず約40名程度で構成され、来年度、創部25周年を迎えます。最近是新入部員が続々と入り、チームの若返りを図りつつ、着実に戦力もアップしております。2015年ラグビーワールドカップ、リオオリンピックで日本代表が強豪国に勝利を取り、来たる2019年には日本でラグビーワールドカップが開催予定で国内でのラグビー人気も再燃しております。経験者・初心者ともに大歓迎ですので、是非気軽に声をかけて下さい。(入部の際には早急に歓迎会を実施します)

### 活動内容

#### ○練習

毎週土曜日10時～12時頃 主にテクセンで実施  
三沢の航空自衛隊・米軍チームとの合同練習  
練習試合、部内試合を適宜実施

#### ○主な大会

キザンカップトーナメント大会(今年度県内3位)  
電力親善ラグビーフットボール大会  
秋季には県内のチームが集まり交流戦を実施  
選出されれば国体にも出場

### 問い合わせ先

吉永(濃縮事業部 試験課) 内線:98-3641  
神(燃料製造建設所 工程計画G) 内線:96-8031



### お知らせ

会報さいくる 第7号1月発行予定

新年もちつき大会(1月上旬予定):再処理企業センター(X15)B棟ロビー

※日程が決定次第、再処理企業協議会ポータルサイトにアップ致します。



## 編集後記

先月、久振り紅葉を見に行こうと思い八甲田山へ向かった。ロープウェイ乗り場に着いたのは午後1時過ぎて観光バスでの団体ツアーにぶち当たり約1時間待ちとなりました。昇りのロープウェイ場所は後ろ北側の窓際と最高のポジションをゲットした。山麓の紅葉がピークであり青森市内、むつ湾と展望出来眺めは最高であった。昇っていくと所要所でガイドの説明が入る。スキーシーズンのロープウェイではなかったことである。山頂で待っているときもボランティアガイドの方から雪中行軍の説明があった。そのガイドの説明があることで歴史や経緯を容易に理解することができ重要であることを感じた。人材育成、技術継承を行っていく上で“見て覚えろ”だけではなくガイド的な説明をする事により相手に伝わりやすいと改めて感じた今日この頃である。